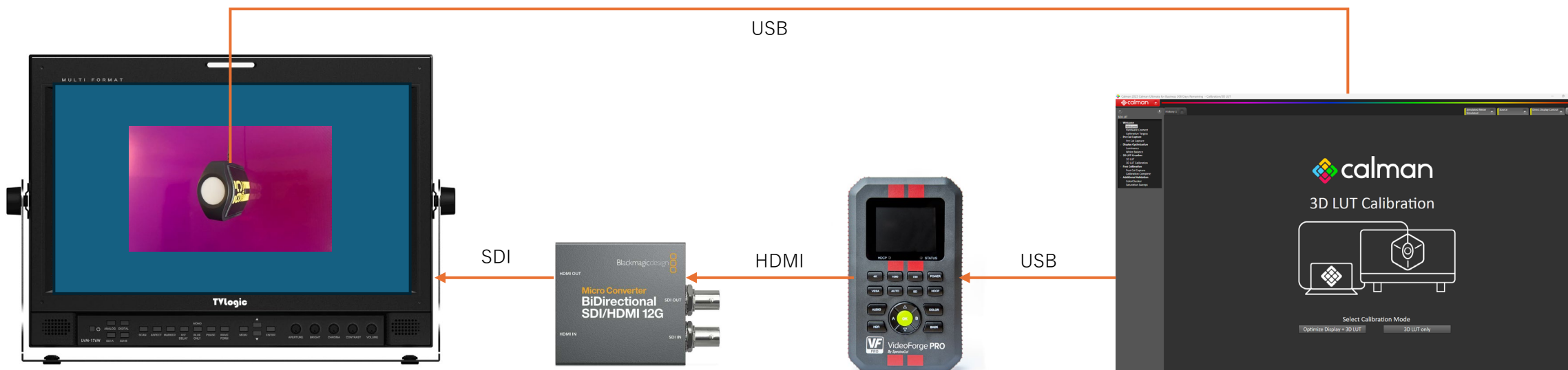


Calman 3DLUT Calibration with BMD Converter参考例

はじめに：【ご注意事項】

- ・本資料はPortrait Displaysオフィシャルではありません。あくまでもご参考情報です。
- ・校正結果についてはパネル機種により異なります。
- ・校正結果は再測定を行い必ず検証してご判断して下さい。
- ・ソニー PVM/BVMモニターはLUT-BOXを使用した3DLUT校正をする必要はありません。
マニュアルにてゲイン調整して下さい。



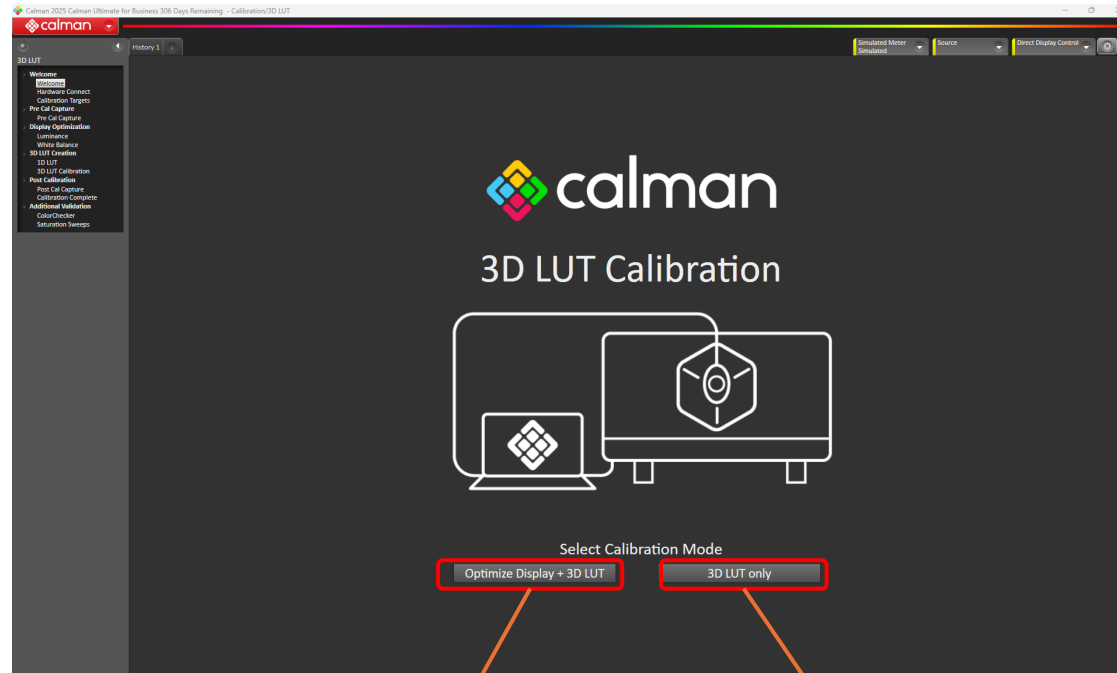
TV Logic LVM-176W
2014年リリース 約10年経過
画質調整機能：輝度、コントラスト、色温度
ゲイン&バイアス調整機能

画質は経年劣化によりドリフトし、パフォーマンスは良くありません。

Blackmagic Design
BiDirectional SDI/HDMI 12G

Portrait Displays
VideoForge Pro 8K

Calman Studio / PC

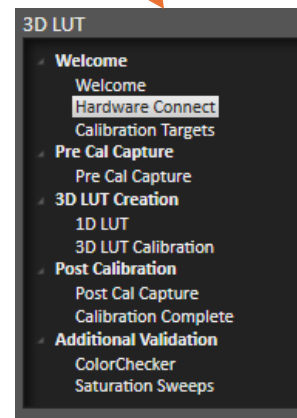
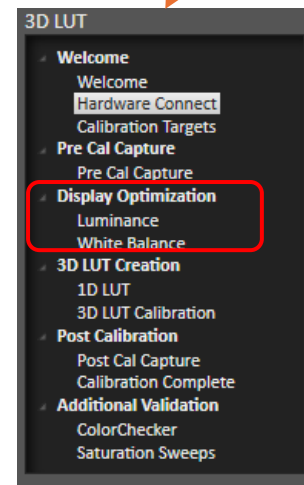


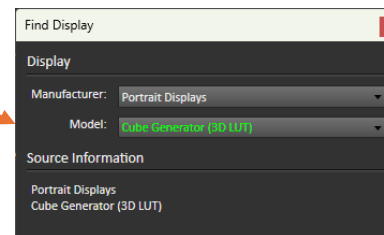
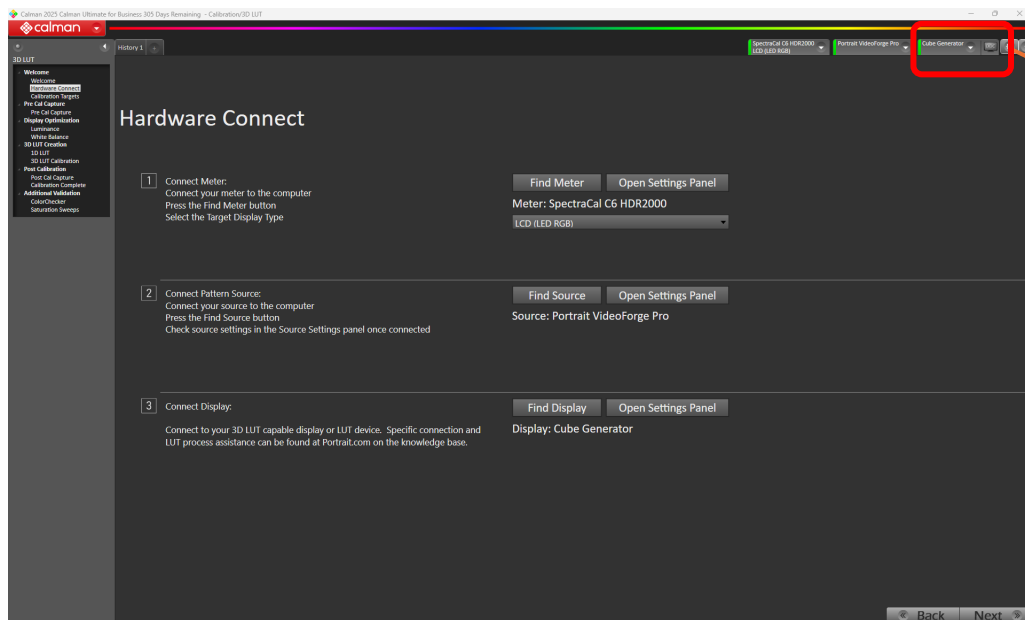
3DLUT CalibrationにはOptimizeと3DLUT Onlyの2種類のモードがあります。違いはLuminanceとWhite Balanceの調整を行ってから3DLUTを作成する工程の有無です。

ディスプレイがリニアな特性の高品質なモデルやや比較的新しい個体の場合は3DLUTのみで良い場合があります。

この場合、Luminanceのみ追加調整で行うなど臨機応変に対応してください。

補足1：1DLUTで作成した.Cube FileはBMDコンバーターで非対応です。

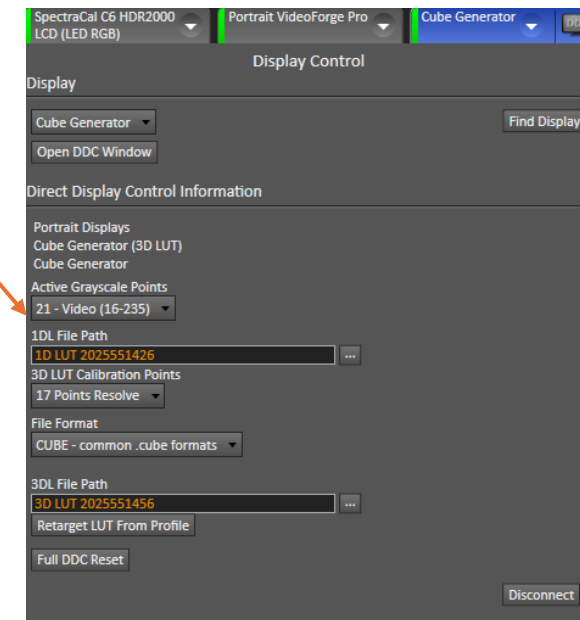




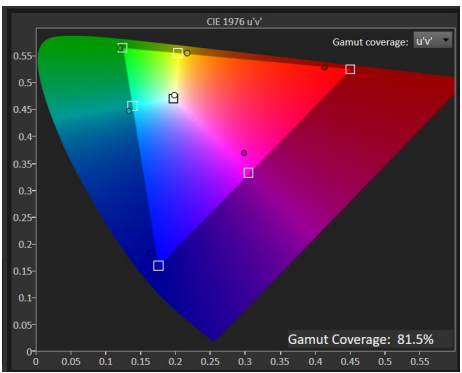
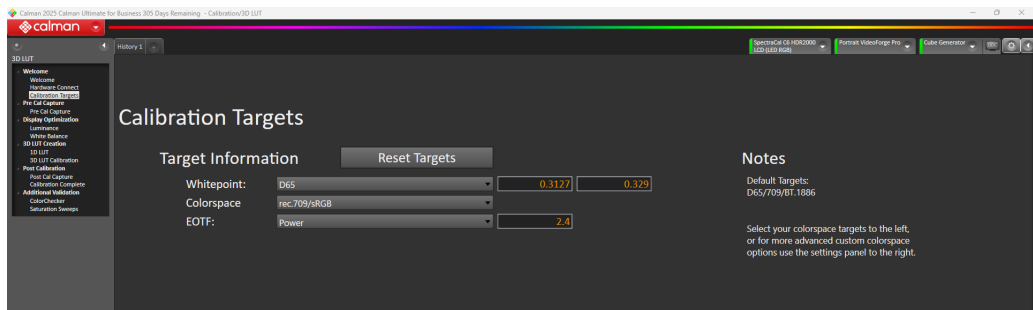
Display設定では、Portrait Displays＞Cube Generator（3DLUT）を設定します。

**BMD BiDirectional SDI/HDMI 12G
にインポートできる3DLUT形式
は.CUBE形式になります。**

インポートする際は.CUBE Fileのみが表示されます。

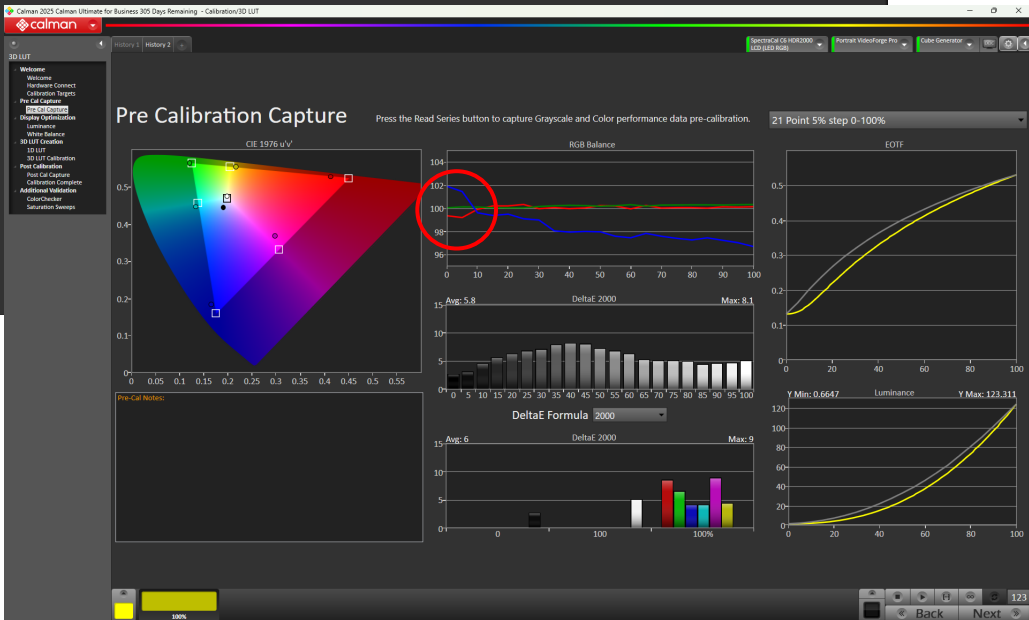


プリセットのD65とUser1の測定比較をしてみます。
基本的に色温度調整が可能なプリセットモードを使用することになります。



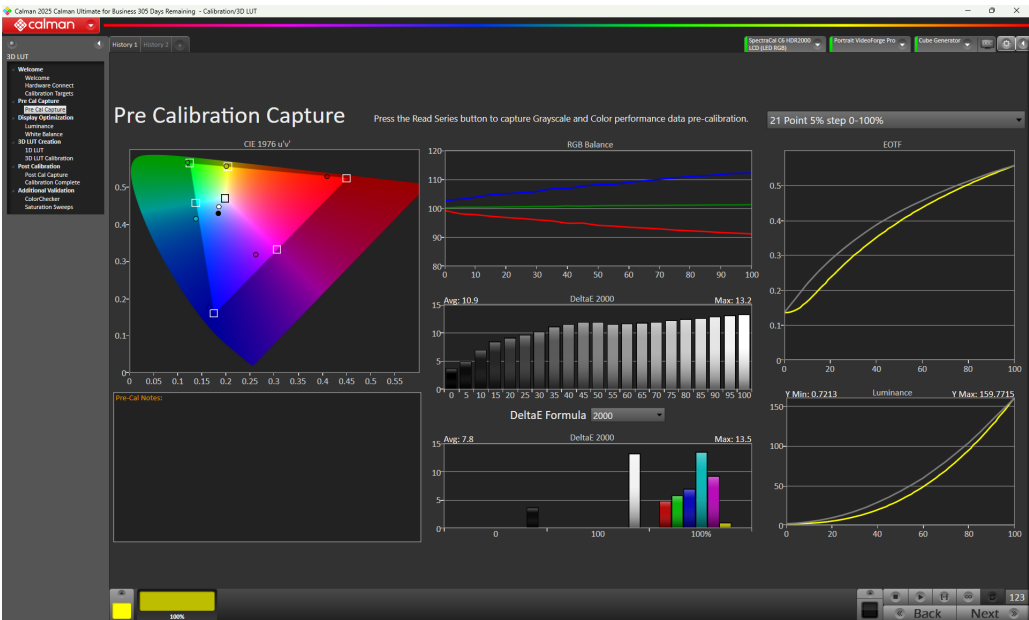
このパネルのパフォーマンスはRec709の81.5%のカバー率です。

3DLUTキャリブレーションでは、狭い色域を拡大することは不可能です。



プリセットD65のPreCaptureです。WhiteBalanceのゲイン補正がされています。

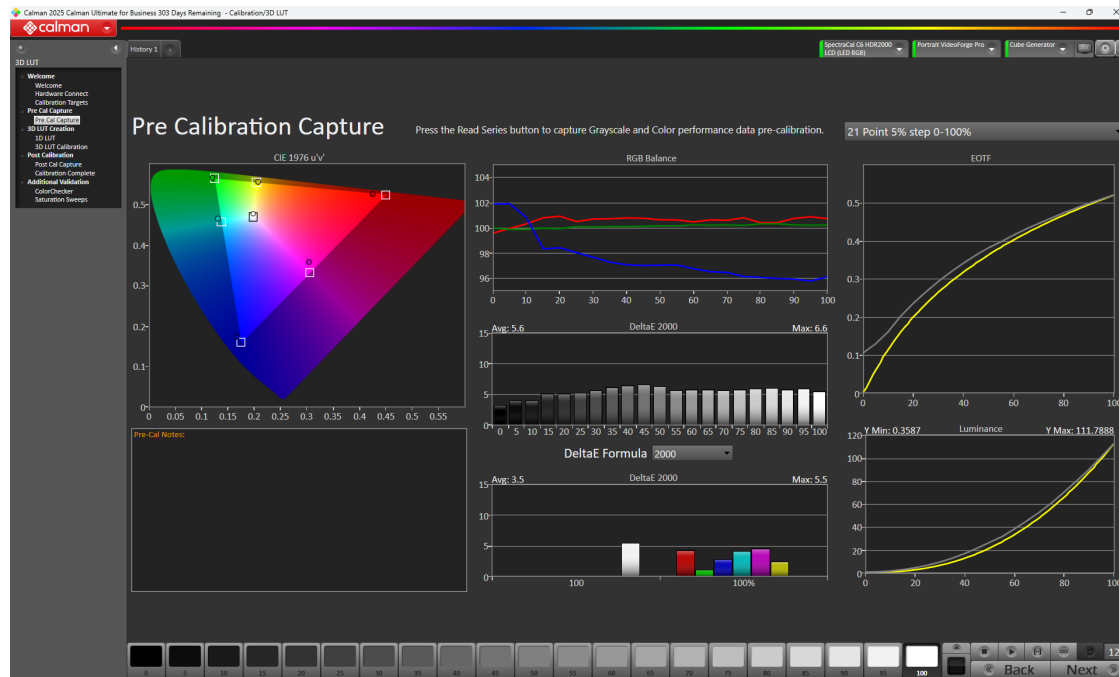
Gain Red — 6
Gain Green — 3 1
Gain Blue — 6 6



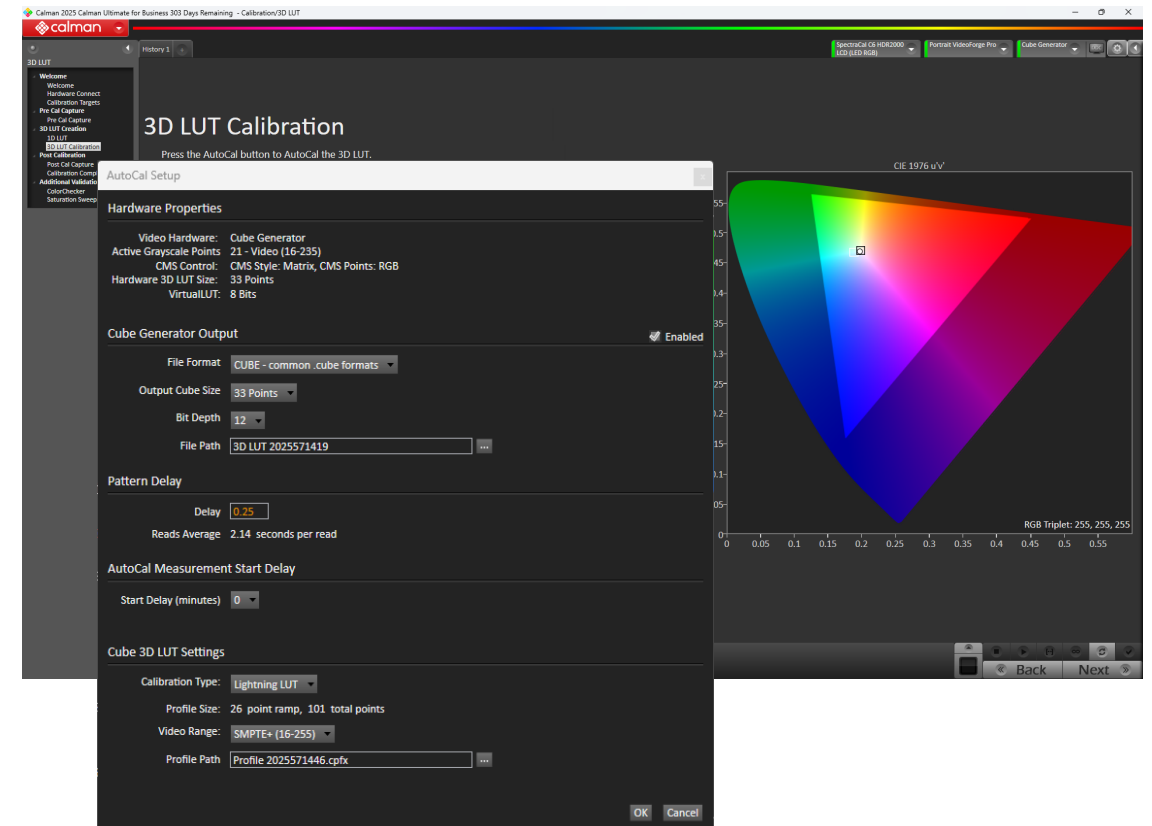
プリセットUsder 1 のPreCaptureです。WhiteBalanceは補正されていません。

Gain Red 0
Gain Green 0
Gain Blue 0

それでは、プリセットのUser1で3DLUTキャリブレーションを実施します。

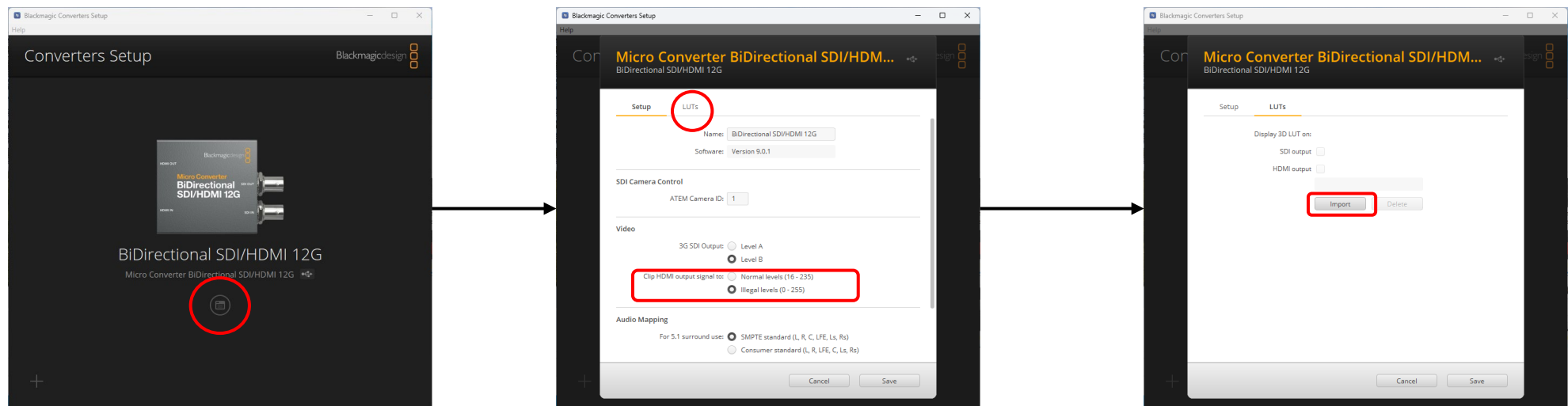


【Before】

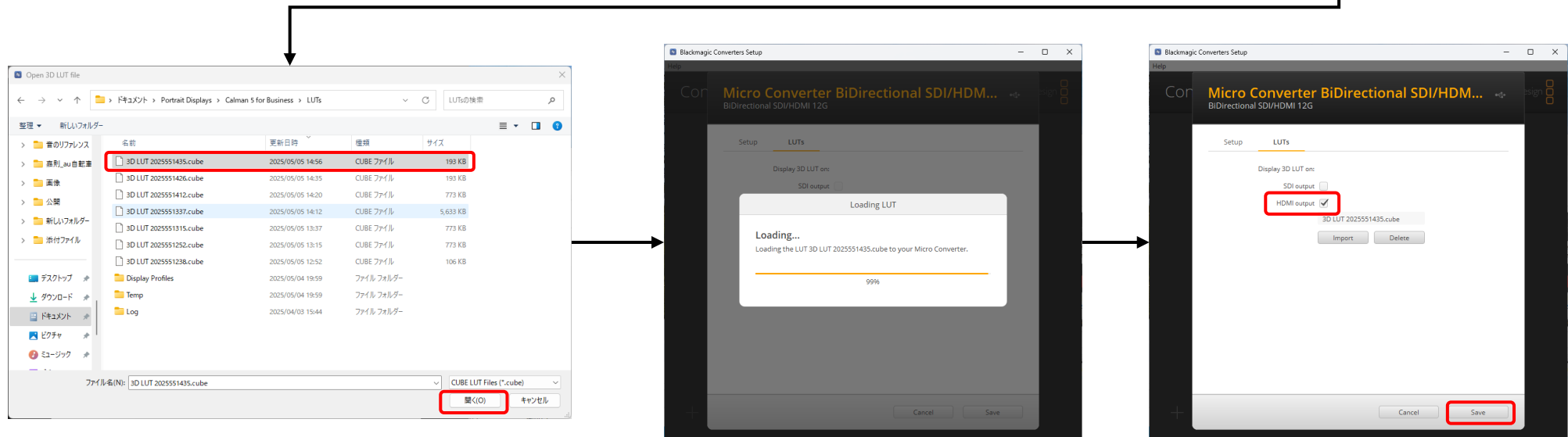


- ①3DLUT形式はCube-common.cube Format
- ②Cubeサイズは最大33ポイントまで
- ③Calibration Typeは、まずはLightningでテストして下さい

3DLUT FileをBMDコンバーターへインポートします



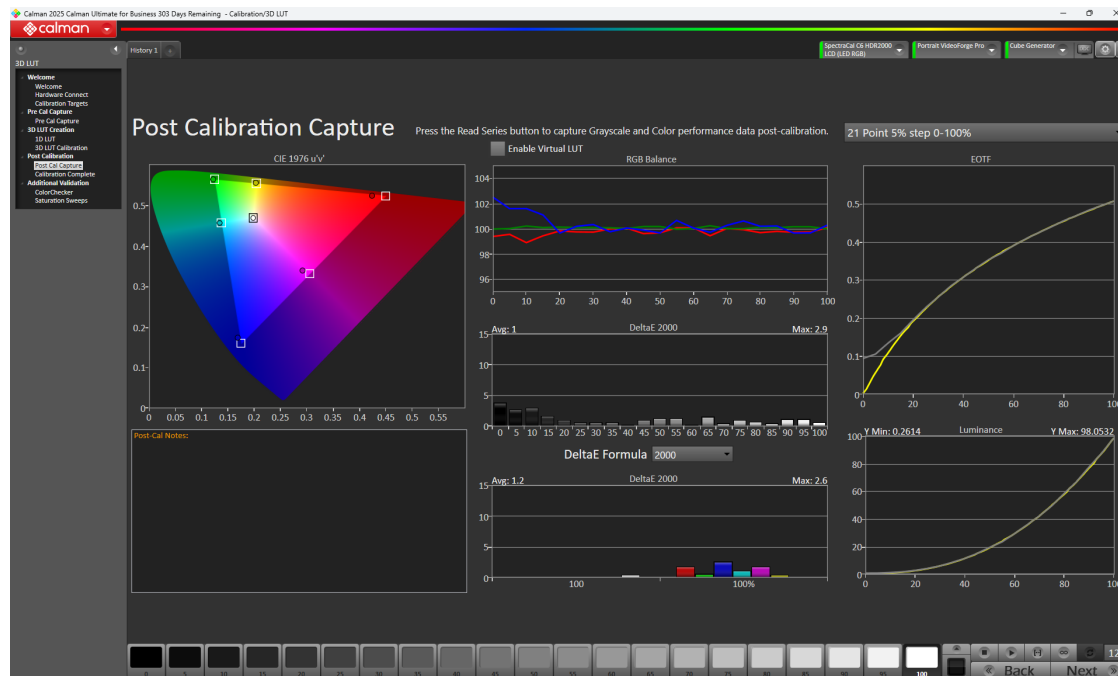
VideoRangeをCalman側とDisplay側に合わせる



作成した3DLUT Fileを選択して開く

Formatが正しい場合はインポート可能

Inputを選択し、Saveする



経年劣化したレビューモニターのため、この結果がベストの様子です。

0%～20%グレースケールはRGBの乖離がありますがモニターパネルの特性と思われます。

3DLUTでLightning=101ポイントの補正のためカラーチェッカーの測定結果は良好です。

【After】

